

2019年11月1日

# 2020年3月期上期 決算説明会

代表取締役社長  
谷本 秀夫

京セラ株式会社

# 1. 2020年3月期上期 決算概要

## 2020年3月期上期 決算概要

(単位：百万円)

	2019年3月期上期		2020年3月期上期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	800,638	100.0%	<b>799,050</b>	<b>100.0%</b>	-1,588	-0.2%
営業利益	82,601	10.3%	<b>60,320</b>	<b>7.5%</b>	-22,281	-27.0%
税引前利益	105,689	13.2%	<b>85,213</b>	<b>10.7%</b>	-20,476	-19.4%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	78,394	9.8%	<b>59,614</b>	<b>7.5%</b>	-18,780	-24.0%
設備投資額	57,021	7.1%	<b>56,183</b>	<b>7.0%</b>	-838	-1.5%
有形固定資産減価償却費	24,295	3.0%	<b>29,134</b>	<b>3.6%</b>	4,839	19.9%
研究開発費	35,256	4.4%	<b>38,583</b>	<b>4.8%</b>	3,327	9.4%
平均為替レート	ドル	110円	<b>109円</b>			
	ユーロ	130円	<b>121円</b>			

(ご参考) 2020年3月期上期 為替変動による影響額 (前年同期比)：売上高 約 -185億円、税引前利益 約 -65億円

- **売上高**：「コミュニケーション」の増収及び「産業・自動車用部品」でのM&Aの貢献はあったものの、部品需要の減少により、ほぼ横ばい
- **利益**： 機器・システム事業は増益となったものの、部品事業の減益などにより全体で減益

## 2020年3月期上期 決算要約

### マクロ経済の悪化 部品需要の減少

- **産業・自動車用部品**  
M&Aにより増収だが、  
半導体製造装置用部品、車載用  
部品等の需要が減少
- **電子デバイス**  
AVXを中心に在庫調整が長期化

### 課題事業の採算は改善 前期までの構造改革の効果

- **半導体関連部品**  
有機材料事業の黒字化
- **コミュニケーション**  
通信機器事業は前期第2四半期  
以降黒字を継続
- **生活・環境**  
ソーラーエネルギー事業の採算  
改善により損失が縮小

## 2020年3月期上期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2019年3月期上期		2020年3月期上期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	160,807	20.1%	<b>167,152</b>	<b>20.9%</b>	6,345	3.9%
半導体関連部品	127,469	15.9%	<b>123,095</b>	<b>15.4%</b>	-4,374	-3.4%
電子デバイス	183,803	22.9%	<b>167,551</b>	<b>21.0%</b>	-16,252	-8.8%
部品事業 計	472,079	58.9%	<b>457,798</b>	<b>57.3%</b>	-14,281	-3.0%
コミュニケーション	114,871	14.4%	<b>126,977</b>	<b>15.9%</b>	12,106	10.5%
ドキュメントソリューション	178,769	22.3%	<b>177,884</b>	<b>22.2%</b>	-885	-0.5%
生活・環境	40,805	5.1%	<b>42,120</b>	<b>5.3%</b>	1,315	3.2%
機器・システム事業 計	334,445	41.8%	<b>346,981</b>	<b>43.4%</b>	12,536	3.7%
その他	9,332	1.2%	<b>7,801</b>	<b>1.0%</b>	-1,531	-16.4%
調整及び消去	-15,218	-1.9%	<b>-13,530</b>	<b>-1.7%</b>	1,688	—
売上高	800,638	100.0%	<b>799,050</b>	<b>100.0%</b>	-1,588	-0.2%

## 2020年3月期上期 事業セグメント別利益

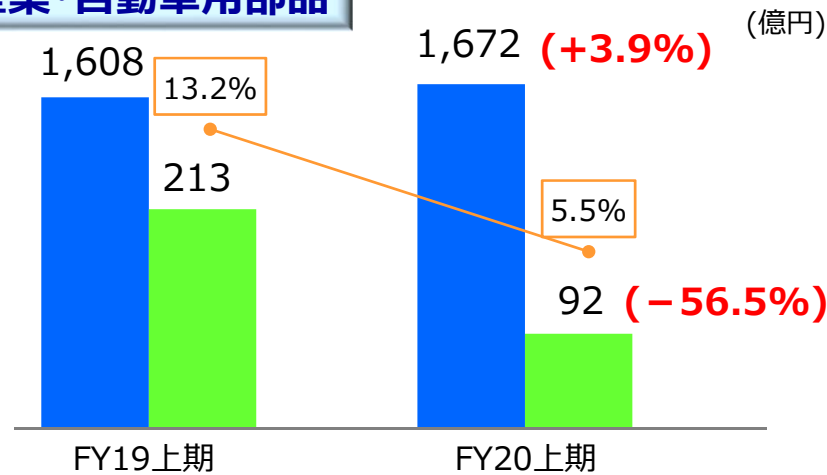
(単位：百万円)

	2019年3月期上期		2020年3月期上期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	21,250	13.2%	<b>9,234</b>	<b>5.5%</b>	-12,016	-56.5%
半導体関連部品	13,157	10.3%	<b>14,490</b>	<b>11.8%</b>	1,333	10.1%
電子デバイス	33,817	18.4%	<b>24,978</b>	<b>14.9%</b>	-8,839	-26.1%
部品事業 計	68,224	14.5%	<b>48,702</b>	<b>10.6%</b>	-19,522	-28.6%
コミュニケーション	656	0.6%	<b>4,999</b>	<b>3.9%</b>	4,343	662.0%
ドキュメントソリューション	19,978	11.2%	<b>18,883</b>	<b>10.6%</b>	-1,095	-5.5%
生活・環境	-6,398	-	<b>-4,996</b>	-	1,402	-
機器・システム事業 計	14,236	4.3%	<b>18,886</b>	<b>5.4%</b>	4,650	32.7%
その他	967	10.4%	<b>-1,920</b>	-	-2,887	-
事業利益 計	83,427	10.4%	<b>65,668</b>	<b>8.2%</b>	-17,759	-21.3%
本社部門損益等	22,262	-	<b>19,545</b>	-	-2,717	-12.2%
税引前利益	105,689	13.2%	<b>85,213</b>	<b>10.7%</b>	-20,476	-19.4%

## 2020年3月期上期 事業セグメント別業績（1）

■ 売上高 ■ 事業利益 —●— 利益率 ( ) 前年同期比増減

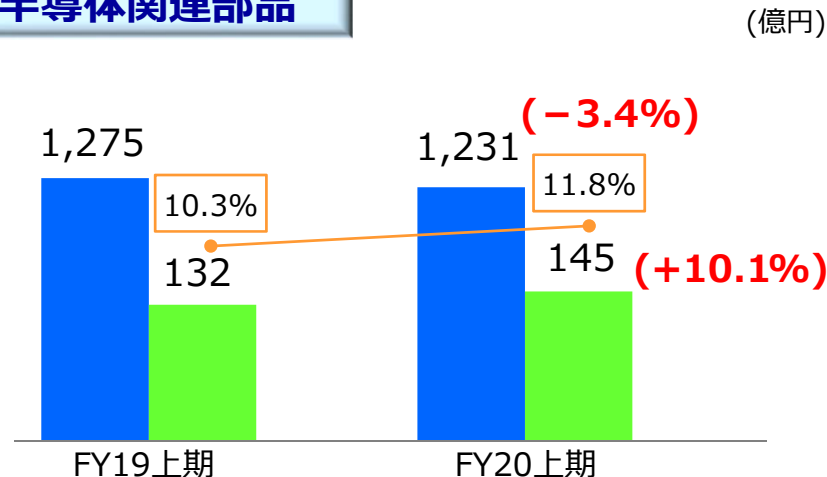
### 産業・自動車用部品



#### <増減要因>

- + 機械工具事業におけるM&Aの貢献
- 半導体製造装置向けを含む産業機械用部品や自動車関連部品等、既存事業の全般的な減収
- 既存事業の減収に加え、減価償却費等の増加もあり減益

### 半導体関連部品



#### <増減要因>

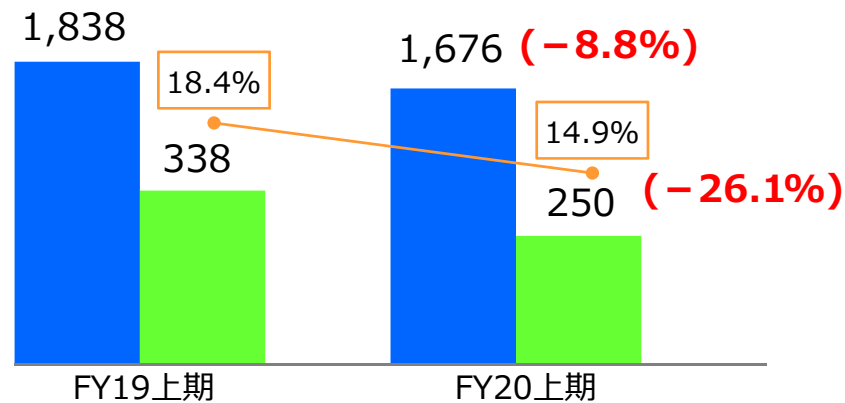
- セラミックパッケージ事業において、光通信用は増加したものの、水晶・SAWデバイス用パッケージの減少を主因に減収
- + 有機材料事業が前期の構造改革効果により黒字化したことから増益、収益性も向上

## 2020年3月期上期 事業セグメント別業績（2）

■ 売上高 ■ 事業利益 —●— 利益率 ( ) 前年同期比増減

### 電子デバイス

(億円)

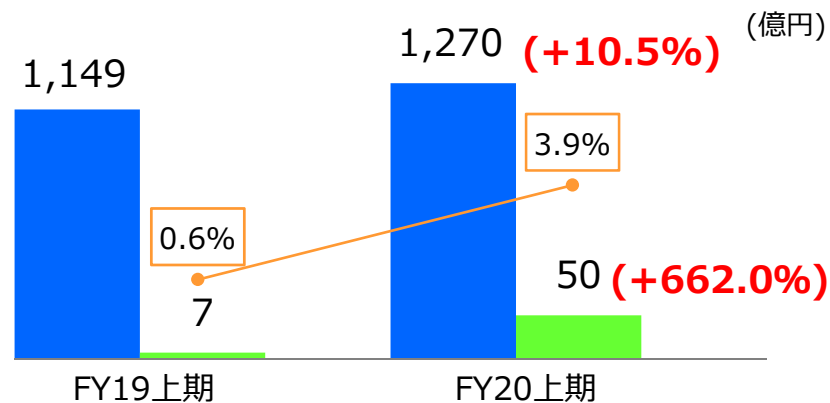


#### <増減要因>

- AVX Corporationにおいて、在庫調整の継続や、米中貿易摩擦による世界経済の減速の影響を受け需要が減少したことを主因に減収減益

### コミュニケーション

(億円)



#### <増減要因>

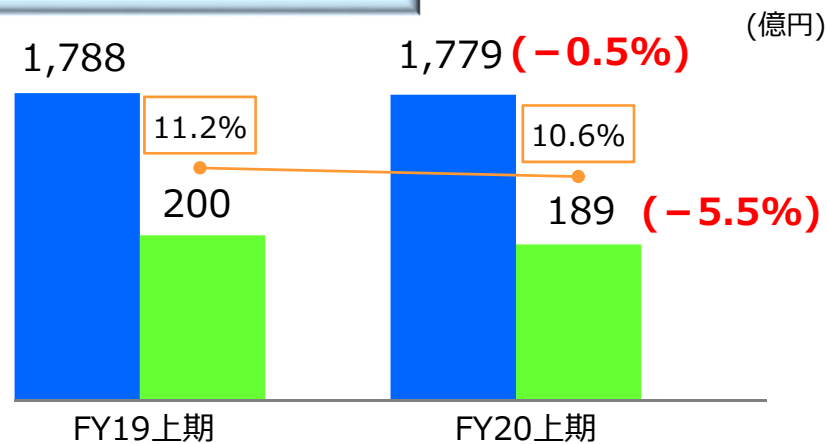
- + 主に国内市場向け携帯端末の販売増により増収
- + 増収及び原価低減効果により大幅増益



## 2020年3月期上期 事業セグメント別業績（3）

■ 売上高 ■ 事業利益 —●— 利益率 ( ) 前年同期比増減

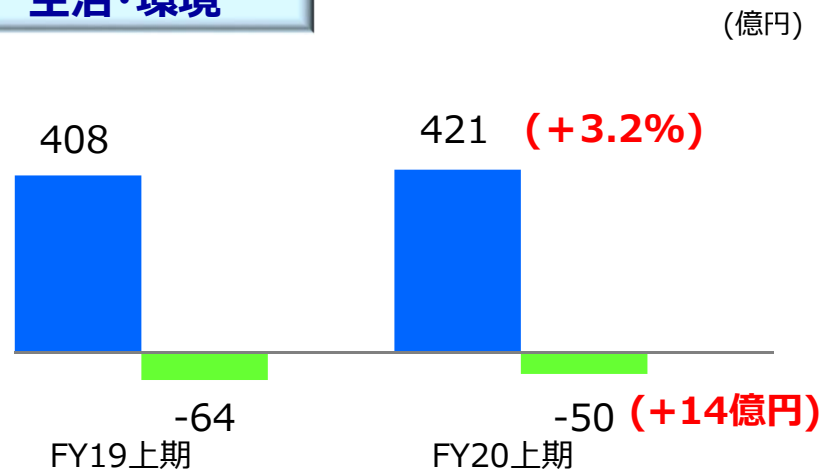
### ドキュメントソリューション



#### <増減要因>

- 前期に実施したM&Aの貢献があったものの、為替の円高影響により売上はほぼ横ばい、利益は減少
- + 生産性向上や原価低減により、2桁利益率を維持

### 生活・環境



#### <増減要因>

- + 医療機器事業の増収
- + 蓄電池等の研究開発費は増加したものの、前期に構造改革を実施したソーラーエネルギー事業の採算改善により損失が縮小

## 2. 2020年3月期 業績予想

## 2020年3月期 業績予想

(単位：百万円)

2020年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2019年3月期		2020年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,623,710	100.0%	<b>1,700,000</b>	<b>100.0%</b>	76,290	4.7%
営業利益	94,823	5.8%	<b>140,000</b>	<b>8.2%</b>	45,177	47.6%
税引前利益	140,610	8.7%	<b>180,000</b>	<b>10.6%</b>	39,390	28.0%
親会社の所有者に帰属する当期利益	103,210	6.4%	<b>125,000</b>	<b>7.4%</b>	21,790	21.1%
基本的EPS(円)	284.94	—	<b>345.21</b>	—	60.27	—
設備投資額	117,049	7.2%	<b>120,000</b>	<b>7.1%</b>	2,951	2.5%
有形固定資産減価償却費	51,524	3.2%	<b>65,000</b>	<b>3.8%</b>	13,476	26.2%
研究開発費	69,927	4.3%	<b>80,000</b>	<b>4.7%</b>	10,073	14.4%
平均為替レート	ドル	111円	<b>105円</b>			
	ユーロ	128円	<b>120円</b>			

(ご参考) 2020年3月期予想 為替変動による影響額(前期比)：売上高 約 -600億円、税引前利益 約 -180億円

(注) 2020年3月期予想のEPSは、2020年3月期上期の希薄化後の期中平均株式数を用いて算出しています。

## 2020年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (4月公表)		今回予想			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	314,339	19.4%	324,600	19.1%	<b>362,000</b>	<b>21.3%</b>	47,661	37,400
半導体関連部品	249,217	15.3%	251,100	14.8%	<b>248,000</b>	<b>14.6%</b>	-1,217	-3,100
電子デバイス	364,827	22.5%	381,600	22.4%	<b>338,000</b>	<b>19.9%</b>	-26,827	-43,600
部品事業 計	928,383	57.2%	957,300	56.3%	<b>948,000</b>	<b>55.8%</b>	19,617	-9,300
コミュニケーション	252,067	15.5%	257,600	15.2%	<b>266,000</b>	<b>15.6%</b>	13,933	8,400
ドキュメントソリューション	375,147	23.1%	400,000	23.5%	<b>397,000</b>	<b>23.4%</b>	21,853	-3,000
生活・環境	80,114	5.0%	94,300	5.5%	<b>98,000</b>	<b>5.8%</b>	17,886	3,700
機器・システム事業 計	707,328	43.6%	751,900	44.2%	<b>761,000</b>	<b>44.8%</b>	53,672	9,100
その他	17,190	1.0%	15,600	0.9%	<b>15,600</b>	<b>0.9%</b>	-1,590	0
調整及び消去	-29,191	-1.8%	-24,800	-1.4%	<b>-24,600</b>	<b>-1.4%</b>	4,591	200
売上高	1,623,710	100.0%	1,700,000	100.0%	<b>1,700,000</b>	<b>100.0%</b>	76,290	0

## 2020年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想				増減金額	
			前回予想 (4月公表)		今回予想			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比	前期比	前回予想比
産業・自動車用部品	38,450	12.2%	34,700	10.7%	<b>21,000</b>	<b>5.8%</b>	-17,450	-13,700
半導体関連部品	※1 10,932	4.4%	30,900	12.3%	<b>30,900</b>	<b>12.5%</b>	19,968	0
電子デバイス	66,926	18.3%	65,500	17.2%	<b>50,000</b>	<b>14.8%</b>	-16,926	-15,500
部品事業 計	116,308	12.5%	131,100	13.7%	<b>101,900</b>	<b>10.7%</b>	-14,408	-29,200
コミュニケーション	10,393	4.1%	8,300	3.2%	<b>10,000</b>	<b>3.8%</b>	-393	1,700
ドキュメントソリューション	43,528	11.6%	41,300	10.3%	<b>41,300</b>	<b>10.4%</b>	-2,228	0
生活・環境	※2 -67,016	-	-6,400	-	<b>-6,400</b>	-	60,616	0
機器・システム事業 計	-13,095	-	43,200	5.7%	<b>44,900</b>	<b>5.9%</b>	57,995	1,700
その他	660	3.8%	-5,500	-	<b>-5,500</b>	-	-6,160	0
事業利益 計	103,873	6.4%	168,800	9.9%	<b>141,300</b>	<b>8.3%</b>	37,427	-27,500
本社部門損益等	36,737	-	11,200	-	<b>38,700</b>	-	1,963	27,500
税引前利益	140,610	8.7%	180,000	10.6%	<b>180,000</b>	<b>10.6%</b>	39,390	0

※1 有機材料事業において、有形固定資産及びのれん等の減損損失 約162億円を計上。

※2 ソーラーエネルギー事業において、ポリシリコン原材料に関する長期購入契約の和解費用等 約523億円を計上。

## 事業セグメント別業績予想の主な修正要因 －前回予想比－

産業・自動車用部品	売上高	+374億円	期中に実施したM&Aの新規貢献
	事業利益	-137億円	相対的に収益性の高い既存事業の減収の影響
電子デバイス	売上高	-436億円	AVXの在庫調整の長期化の影響
	事業利益	-155億円	減収の影響
コミュニケーション	売上高	+84億円	上期実績及び下期見通しを踏まえ修正
	事業利益	+17億円	

## 中・長期の事業拡大に向けた取り組み

### 5G関連事業：インフラ向け部品の拡大

- ✓ MLCC、光通信用セラミックパッケージの拡大
- ✓ 京セラ宇宙RFテックの設立：通信基地局用フィルターの量産

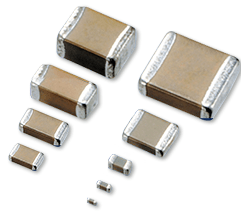
### 環境・エネルギー事業の拡大

- ✓ 住宅・産業向け電力サービス事業の新設
- ✓ 新型蓄電池、燃料電池の市場投入

## 5G関連事業

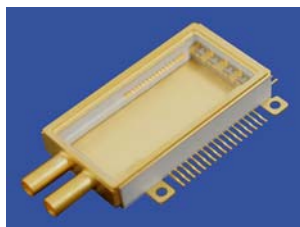
### 5Gに向けたインフラ向け部品の拡大

#### MLCC



新製品により5G通信基地局  
向けの受注を新規に獲得

#### 光通信用セラミックパッケージ



幹線系の需要堅調  
高速伝送対応のセラミック  
パッケージの拡大

#### 5G通信基地局向けセラミックフィルター



量産体制を確立し、  
グローバルに拡販を図る

#### 京セラ宇部RFテックの設立

KYOCERA × UBE / 宇部興産株式会社

- 生産技術力
- グローバルな販売網
- 高性能なセラミック  
フィルタの設計能力

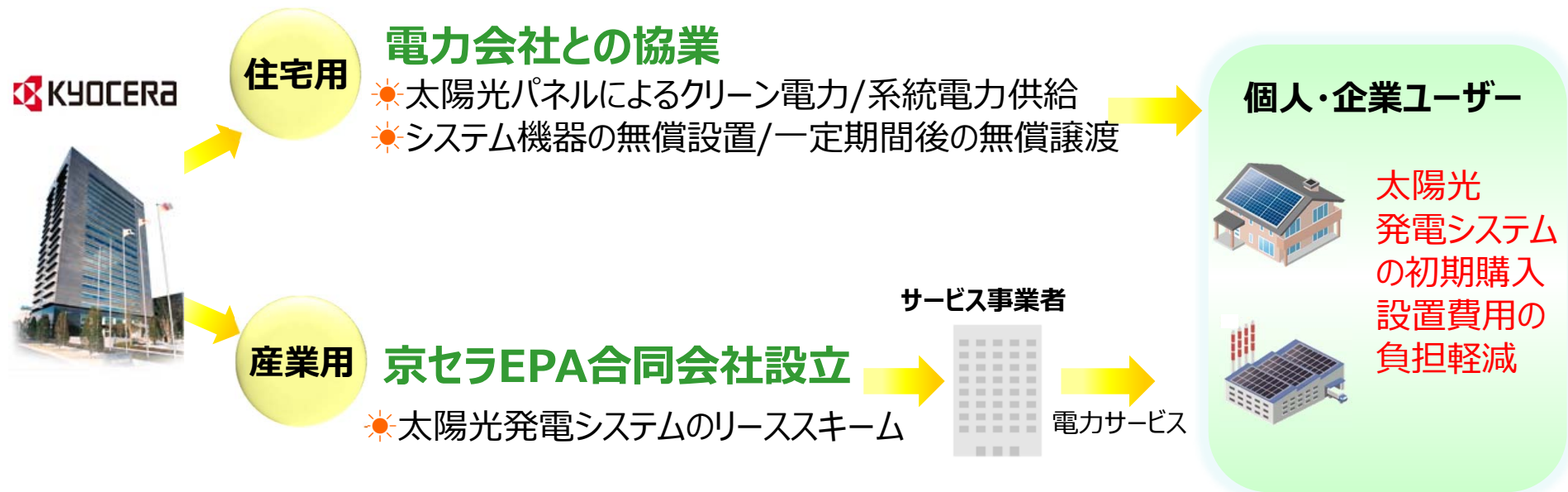
来期より本格化する5G関連の事業機会を捉える



## 環境・エネルギー事業の拡大（1）

### 「モノ売り」から「サービス提供」へ新たな事業展開

ユーザーおよび電力サービス事業者の初期投資負担を軽減する新ビジネスモデル



当社の高い信用力を活かし長期にわたるサービス事業を展開

## 環境・エネルギー事業の拡大 (2)

### エネルギー自家消費市場に向けた新製品の投入

#### 住宅用蓄電システム エネレッツァ

2020年～

Enerezza



パワーコンディショナ



蓄電池ユニット



リモコン

特長

世界初\*1のクレイ型蓄電システム  
高安全性、長寿命、低コスト



特長

世界最小サイズ\*2、高い発電性能、  
環境貢献、レジリエンス機能

#### 家庭用燃料電池 エネファームミニ

10月発売

ENE-FARM mini



熱源機



燃料電池発電ユニット



台所リモコン

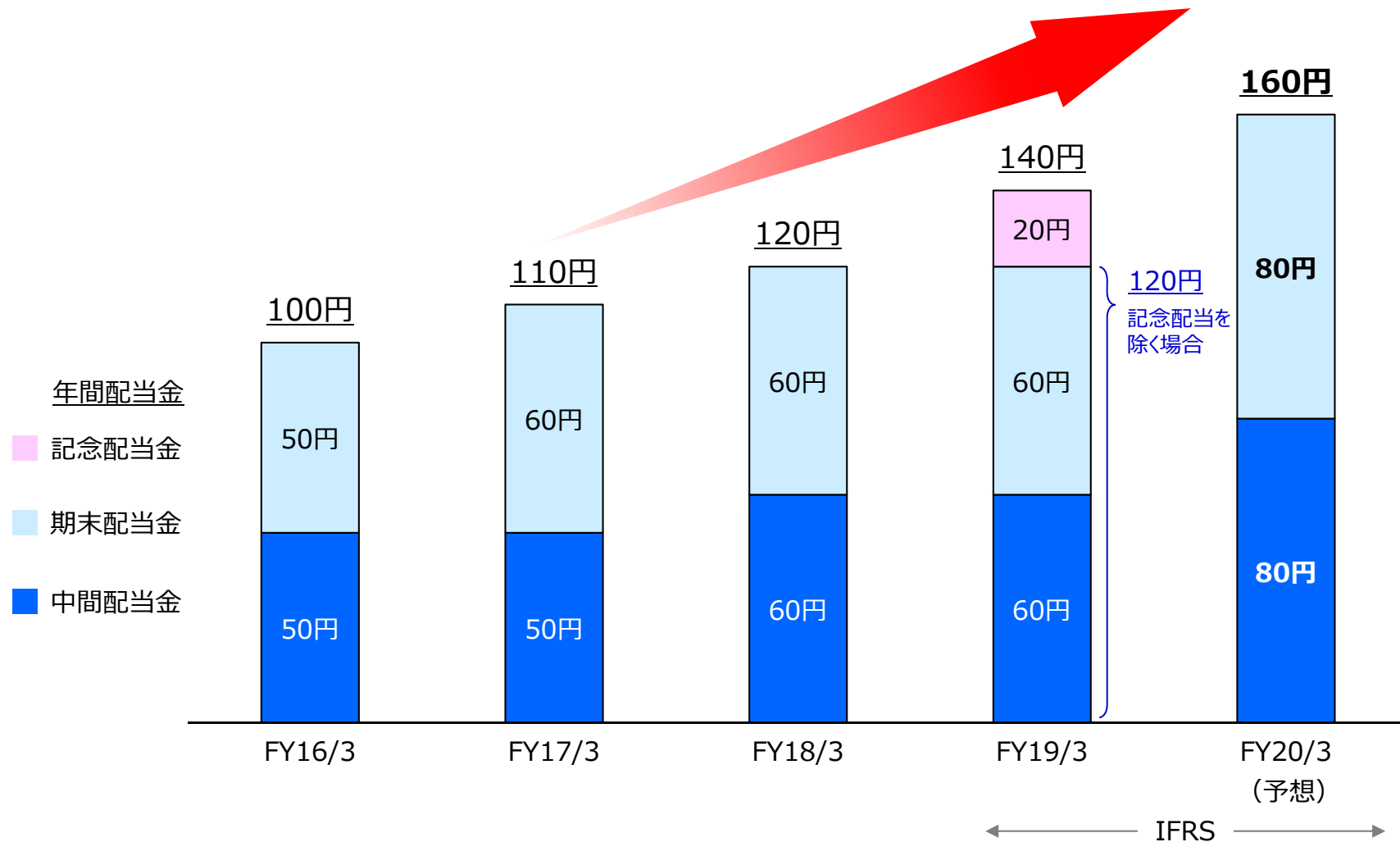


浴室リモコン

新製品ラインアップの拡充により、売上拡大につなげる

# 1株当たり配当金の推移：4期連続の増配

2020年3月期 年間配当金予想は変更なし



## 2020年3月期第2四半期 決算概要 第1四半期比

(単位：百万円)

	2020年3月期				増減		
	第1四半期		第2四半期				
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率	
売上高	384,937	100.0%	<b>414,113</b>	<b>100.0%</b>	29,176	7.6%	
営業利益	22,629	5.9%	<b>37,691</b>	<b>9.1%</b>	15,062	66.6%	
税引前利益	45,486	11.8%	<b>39,727</b>	<b>9.6%</b>	-5,759	-12.7%	
親会社の所有者に帰属する四半期利益	32,037	8.3%	<b>27,577</b>	<b>6.7%</b>	-4,460	-13.9%	
設備投資額	25,821	6.7%	<b>30,362</b>	<b>7.3%</b>	4,541	17.6%	
有形固定資産減価償却費	14,317	3.7%	<b>14,817</b>	<b>3.6%</b>	500	3.5%	
研究開発費	18,866	4.9%	<b>19,717</b>	<b>4.8%</b>	851	4.5%	
平均為替レート	ドル	110円		<b>107円</b>			
	ユーロ	123円		<b>119円</b>			

(ご参考) 2020年3月期第2四半期 為替変動による影響額 (第1四半期比)：売上高 約 -80億円、税引前利益 約 -25億円

➤ **売上高：部品事業・機器事業共に増収**

➤ **利益：増収により営業利益が増加**

(税引前利益は第1四半期に受取配当金が計上されているため減益)

## 2020年3月期第2四半期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2020年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
産業・自動車用部品	79,330	20.6%	<b>87,822</b>	<b>21.2%</b>	8,492	10.7%
半導体関連部品	57,973	15.1%	<b>65,122</b>	<b>15.7%</b>	7,149	12.3%
電子デバイス	83,203	21.6%	<b>84,348</b>	<b>20.4%</b>	1,145	1.4%
部品事業 計	220,506	57.3%	<b>237,292</b>	<b>57.3%</b>	16,786	7.6%
コミュニケーション	62,222	16.2%	<b>64,755</b>	<b>15.6%</b>	2,533	4.1%
ドキュメントソリューション	87,130	22.6%	<b>90,754</b>	<b>21.9%</b>	3,624	4.2%
生活・環境	17,793	4.6%	<b>24,327</b>	<b>5.9%</b>	6,534	36.7%
機器・システム事業 計	167,145	43.4%	<b>179,836</b>	<b>43.4%</b>	12,691	7.6%
その他	4,110	1.1%	<b>3,691</b>	<b>0.9%</b>	-419	-10.2%
調整及び消去	-6,824	-1.8%	<b>-6,706</b>	<b>-1.6%</b>	118	-
売上高	384,937	100.0%	<b>414,113</b>	<b>100.0%</b>	29,176	7.6%

## 2020年3月期第2四半期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

	2020年3月期				増減	
	第1四半期		第2四半期			
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
産業・自動車用部品	4,798	6.0%	<b>4,436</b>	<b>5.1%</b>	-362	-7.5%
半導体関連部品	5,082	8.8%	<b>9,408</b>	<b>14.4%</b>	4,326	85.1%
電子デバイス	13,418	16.1%	<b>11,560</b>	<b>13.7%</b>	-1,858	-13.8%
部品事業 計	23,298	10.6%	<b>25,404</b>	<b>10.7%</b>	2,106	9.0%
コミュニケーション	2,013	3.2%	<b>2,986</b>	<b>4.6%</b>	973	48.3%
ドキュメントソリューション	8,966	10.3%	<b>9,917</b>	<b>10.9%</b>	951	10.6%
生活・環境	-2,590	-	<b>-2,406</b>	-	184	-
機器・システム事業 計	8,389	5.0%	<b>10,497</b>	<b>5.8%</b>	2,108	25.1%
その他	-910	-	<b>-1,010</b>	-	-100	-
事業利益 計	30,777	8.0%	<b>34,891</b>	<b>8.4%</b>	4,114	13.4%
本社部門損益等	14,709	-	<b>4,836</b>	-	-9,873	-67.1%
税引前利益	45,486	11.8%	<b>39,727</b>	<b>9.6%</b>	-5,759	-12.7%

## 将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 当社の海外における売上に由来する収益の大半に影響を与える様々な輸出リスク
- (4) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (5) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (6) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (7) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (8) 電力不足や電力費の上昇が当社の生産活動及び販売活動に及ぼす影響
- (9) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (10) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (11) 科学技術分野等の優れた人材の確保が困難となる事態
- (12) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (13) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (14) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (15) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (16) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (17) テロ行為、疾病の発生、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (18) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (19) 売掛債権の信用リスク
- (20) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (21) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (22) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (23) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。